

月刊

河井克行

平成二十三年十二月一日号
 衆議院議員 河井克行事務所
 自由民主党広島県第三選挙区支部
 国会事務所 TEL:03-3508-7518 FAX:03-3508-3948
 広島事務所 TEL:082-832-7301 FAX:082-878-3301
 ブログ「あらいくまのつばやき」 <http://kawai.fine.to/katsu>

野田内閣の閣僚の資質と民主党政権の欺瞞を突く！

河井克行代議士、予算委員会で堂々の再戦

12月5日(月)、衆議院予算委員会「政治とカネ等」集中審議がNHKのテレビとラジオが生放送する中で行われ、9月に続いて河井克行代議士が登壇しました。

一川保夫防衛大臣を庇いつづける野田総理の思惑と、普天間飛行場移設を難

航させた民主党政権の政治責任、革マル派が浸透している労働組合との癒着という新たな疑惑が判明した山岡賢次国家公安委員長、を舌鋒

自民党の河井克行氏(比例中国)が、国会での閣僚追及で存在感を示している。党内には「与党より野党向き」のタイプでは、との声も聞かれるほか、「答弁は責任回避ばかり。沖縄問題は余計に怒り、国民は失望している」。テレビ中継された5日の衆院予算委員会では、冒頭から前防衛局長の木

12月10日(土)付
中国新聞
永田町発 weekly

閣僚追及で存在感
自民・河井氏「野党向き」の声も

河井氏は昨年11月の法務委員で、橋田整法相(参院広島)の解任のきっかけとなった国会監視発言を初めて質問。今年9月には予算委で、米軍再編に反対してきた平岡秀夫法相(山口2区)をしつこくたし難高させた。「スキャンダル」の取り上げても権者の支持は得られない。(中国地方選出の民主党政議員)との冷めた声もあるが、河井氏は国を揺るがす行為は国益を損なう行為と意に介さない。今年度の国会での質問は14回。政策道の政調幹部らに比べ、党内では1996年の初当選から続けた議員生活を退き、無党派。「谷垣(一)一線には勝つ姿勢が見えない」と風行部にも先を向ける。(岡田啓生)

鋭く追及しました。「すっかり自民党の“爆弾男”になってきた感じ」(テレビ局記者)も漂うなか、山岡大臣問責決議案可決への「野党各党の背中を押した」(全国紙記者)質疑となりました。

まず、これだけ防衛相としての知識と資質に欠ける一川大臣を野田総理が罷免しない理由を、「地元の猛反発が必至の環境影響評価書を沖縄県に年内提出するという泥をかぶせるためだけに温存している」と喝破。また、辺野古移設に賛成している沖縄県選出の民主党国会議員、県会議員が一人もないことを総理に認めさせ、あわせて民主党沖縄県連のホームページ表紙に未だに『普天間基地は、県外・国外へ』と書かれていることを暴露。普天間移設の実現に懸けた橋本龍太郎内閣以来の自民党閣僚と比べて、民主党政権がまったく本気ではない姿勢がこれで明確になりました。

次に、数多くの疑惑が明らかになっている山岡大臣が、民主党副代表として昨年6月に出席したJR東労組大会において、革マル派が同労組に浸透していると断定した鳩山内閣の答弁書決定に対し「内閣に強く抗議し、当時の国家公安委員長に

十分注意するように言った」と誇らしげに語ったことを、独自に入手したテープを基に追及。事実確認を迫り、「記憶にございません」と、否定できない状態に追い込みました。なおこの部分は参議院で可決された山岡大臣問責決議の中の問責理由に盛り込まれました。

“普天間は最低でも県外”鳩山発言は民主党ぐるみ、との答弁を引き出す 外務委員会筆頭理事として総理・外相に切り込む

米軍普天間飛行場移設が難航したきっかけは、鳩山由紀夫民主党代表(当時)が総選挙の応援に訪れた平成21年7月19日、那覇市で「普天間の移設先は最低でも県外にする」と宣言したことですが、この発言への評価をめぐり、野田内閣は二転三転。

まず、10月26日外務委員会で玄葉光一郎外務大臣は河井克行代議士に対して「あの発言は誤りだった。あの発言を聞いて、おそらくこの問題で鳩山政権ができて終わるんじゃないかと思った」と答弁。ところが翌27日、会食した席で鳩山氏から反発を受けた野田総理は「鳩山発言が誤りだった、という玄葉答弁は間違いだ。申し訳ない」と陳謝。野田総理の陳謝を受けて、その翌28日の会見で玄葉外相は「いずれにしても、沖縄の皆さんに大変申し訳ないというのが私の心理だ」とはぐらかしてしまったのです。



総理を質す河井克行代議士
(12月2日/衆議院外務委)

結局、12月2日に開かれた外務委員会において野田総理は「鳩山元首相が勝手に発言したのではなく、・・・発言のもとになっているのは(2008年に策定した)民主党沖縄ビジョンである」と答えざるをえない羽目になりました。これにより、中国漁船による尖閣諸島領海侵犯事件やロシア大統領による択捉島訪問を引き起こした日米同盟の揺らぎの原因は、民主党の政策そのものであることを総理が認めたこととなります。

合同新年交歓会のお知らせ

毎年恒例、自由民主党広島県第三選挙区支部&河井克行を育てる会連合会「合同新年交歓会」を下記の要領で開きます。河井代議士の新春にかける決意をお聞きいただき、大勢の皆様から激励と叱咤を賜りたく存じます。

とき:1月23日(月)12:00~

ところ:ANAクラウンプラザホテル広島

講師:佐藤優氏

(作家、大宅壮一賞受賞)

